

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内企業のものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No.21 The company in Shirakawa

春雪さぶー(株)サガミハム白河工場
SAVEUR SS INC.

住所：白坂牛清水105
事業内容：ハム・ソーセージの製造

お客様に安全で安心な「お皿の上の満足」を提供します



- ① メイン製品であるボロニアソーセージをはじめ、様々なハムやソーセージを製造しています。
- ② 工場外観。毎月2回、外周の清掃活動をしています。
- ③ 工場を案内してくれた製造グループの伊藤晃さん（前列右から2番目）と従業員の皆さん。
- ④ 徹底した温度管理のもと、ハムを加熱させています。
- ⑤ 伝統の製法で加工したひき肉を腸詰めしてウィンナーを製造する様子。
- ⑥ 工場長の植松さん（左）と業務グループリーダーの佐々木さん。

「私たちの会社では、ハムやベーコンなどの食肉加工品を製造しています。ソーセージやウィンナーが好きな子どもをはじめ、消費者の皆さんの喜ぶ姿を想像しながら、味わい深い製品づくりを心掛けています」と話す業務グループリーダーの佐々木昌平さん。

前身の相模ハム(株)は、昭和31年に神奈川県藤沢市で創業。昭和63年には、交通の利便性から、白坂工業団地に白河工場を建設。その後、吸収・合併を経て、平成24年7月に現在の社名に変更しました。最先端の機械設備、品質・安全管理の手法を取り入れ生産する一方で、機械では出せない、昔から受け継がれてきた手作業ならではの味わいとぬくもりを大切にしています。

敷地面積は19,402㎡、従業員は140人、その約9割が地元の人で構成されているこの工場は、地域の雇用に大きく貢献しています。また、従業員には、徹底した衛生管理の教育や、毎日の朝礼での注意喚起を通して、品質・安全管理の意識向上を図っています。

「地域に密着した“ローカルブランド”として、市販品はもとより、今後は、業務用分野にも力を入れながら、新しい技術と伝統ある製法を守り、皆さんに愛される製品を作っていきたいです」と工場長の植松美さんは優しく話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、11月16日から12月17日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

12月18日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

- (株)サン・ベンディング白河 様
- 岩淵康治 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(11月22日～12月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 天理教 北多摩西部支部 様
- スーパーミラクル塾 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、本市にゆかりのある洋画家、斎藤正夫画伯の作品「躍進」です。画伯は、父の出身地である白河を、自らの故郷として生涯慕っていました。馬の中に潜む生命力や野生に魅せられ、また、幼少時、白河のまちなかを歩く多くの馬を見て親しみ感じていたことから、馬を題材にした作品を多く残したと言われています。

この作品をはじめとした千支にまつわるものなど、新春を祝う題材の絵画や書物などを展示したテーマ展「新春を祝う—おめでたきものたち—」が歴史民俗資料館（中田）で、1月26日(日)まで開催されています。

新春にふさわしい作品をぜひご覧ください。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ

<https://www.facebook.com/city.shirakawa>